

## A「NHK防災サバイバル」（視察申込者7名・報告書提出者4名）

日時・場所	令和元年12月10日(火)～12月13日(金) 旭区民センター大ホール
区の予算・決算	なし
事業概要・実績等	NHK大阪放送局企画のもと、次世代を担う児童が、いざという時のために、主体的に行動できるための知識、判断力を身に付けられるよう、多様なシチュエーションを体験・熟考できる、実践型防災イベント「挑戦！NHK防災サバイバル」を実施します。

## ● 事業の内容について良いと思う部分

- ・内容はかなり工夫されていた。あとで振り返りもあり、今後に大いに役に立つと思う。最近の大地震・台風・洪水と、それに対する教育訓練は、大人も子どもも必要であると思う。
- ・災害時に、大人に頼るのではなく、「自分で自分の命を守るのだ」という意識を持たせるきっかけ作りになっている。
- ・1時間の制限時間内にクイズ形式で防災について学べる内容が良かった。
- ・終わりのDVDで、体験したことを振り返ることができ、児童にも見学者にもよく分かった。
- ・ゲームの要素を取り入れて考えながらチームで行動することが良かった。
- ・新聞紙とビニールでトイレやコップを作る実践・体験をしたことが良かった。
- ・日頃、あまり使う事のないラジオの周波数を合わせることなど、良い体験になったと思う。

## ● 事業の内容について改善等が必要と思う部分

- ・各地域での防災訓練は、役員を中心に大人が行っているが、子ども向け訓練はかなり分かりやすく工夫されているとは思ったが、区民センター大ホールの2階からの見学であったので、内容がわかりにくかった。
- ・ゲーム感覚で楽しただけでなく、そのあとも防災について意識し続けられるようなしかけがあったらもっと良かった。
- ・ミッションの一部が大ホールで行われており、様子が見られなかったのが残念であった。
- ・改善ではないが、さらに次のプログラムがあれば良いと思う。

## ● その他ご意見・ご感想があれば記入してください

- ・次世代のために様々な取組をしていることがわかった。
- ・災害伝言ダイヤル171や、AM666を学んだ。
- ・学校現場では時間的ゆとりも設備も不足していると思うので、行政とメディアが協力していくことは良い。
- ・前半の、子どもたちがミッションに取り組んでいる時間は、何をしているか全くわからず、視察の意味がないと思った。視察者にもミッション内容を事前に知らせてもらうか、モニターなどで子どもたちの様子が見えるようにしてほしい。
- ・児童が、グループに分かれて力を合わせて取り組んでいた姿に感動した。
- ・どのグループも、女子がしっかりリード、男子が後についての行動が微笑ましくもあった。
- ・今回の経験をしたことで、災害のあった時など、地域のボランティアとして行動してくれるのではないかと期待を抱いた。
- ・4・5・6年と経験していくと、自然と行動できるようになるのではないかと思います。

## 【担当課のコメント：市民協働課(防災安全)】

この度はご見学ありがとうございました。「挑戦！NHK防災サバイバル」は実践型避難体験ができる防災イベントです。近い将来に起きると言われている「南海トラフ巨大地震」や最近各地で発生している豪雨による大規模災害から、次世代を担う児童が、いざという時のために主体的に行動できるための知識・判断力を身に付けられるよう企画された実践型の防災イベントとです。今回、区政委員の皆様方は2階席からの観覧で、全体の動きがわかりずらかったと思いますが、イベント運営上、内容を事前に内容をお知らせすることができず、また大ホール以外の子供たちの動きもお見せすることができませんでした。ご理解よろしく申し上げます。今後とも引き続き、子供たちの防災教育を行う所存ですので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

M「大阪市震災総合訓練・旭区災害対策本部設置運用訓練」（視察申込者2名・報告書提出者2名）

日時・場所	令和2年1月17日(金) 9:30~12:00(予定)【旭区役所3階 第2・3会議室】
区の予算・決算	H30決算0千円、R1 予算0千円
事業概要・実績等	地震発生直後の迅速な災害応急対策の確保と危機管理機能の保持を行うため、市及び旭区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証するとともに、職員の災害対応能力、意識の向上を図ることを目的に実施する。大阪市全体として毎年1月に実施されている。

● 事業の内容について良いと思う部分

・目的に沿うものとして、良いと思う。

● 事業の内容について改善等が必要と思う部分

・今回実施の反省点をおさえて、年度内にもう一度訓練が実施されると、より精度が上がるのではないかと思う。

● その他ご意見・ご感想があれば記入してください

・マニュアルは実際に被災した地域の例なども参考にして工程表は作られているかと思うが、旭区のカルテ(?)から独自のマニュアルになっているのか？  
・被災した地域は、必ず目の前の状況に対処していかなければならない。それに必要な情報を最優先して、ツイッターだけでなく区役所と繋がるすべてのチャンネルで流し周知して欲しいと思う。病院の受け入れ状況、避難所・福祉事務所の場所、消防・警察の動向、道路状況など。  
・各地域の被災状況をまとめた的確に掴む事も大事である。いつ起きるかわからないが、区役所も地域も訓練を重ねることで判断・行動がスムーズにできるようになると思っている。  
・今年の「1月17日」は、あれから25年(四半世紀)が経ちました。やはり、あの記憶は旭区在住の者としても忘れることはありません。今回、緊張感を持って見学させていただきました。見学できて、良かったです。  
・地震・台風・火事等、災害が発生した時に、どのように対処・対応すべきか、自身で思慮しております。『防災』の目的は、命を守ること。『BCP』の目的は、命と事業を守ること。

【担当課のコメント:市民協働課(防災安全)】

この度はご見学ありがとうございました。今回の訓練は発災直後に参集した職員が行動する初動訓練であり、マニュアルにつきましては旭区に見合ったマニュアルを作成しています。また、ご指摘の病院情報につきましては、独自のシステムがあり、運用について医師会並びに災害時協力病院などと調整を行っています。また、そのほかの情報収集手段として新たな通信手段を導入すべく作業を進めています。今後、職員訓練を重ね災害時に速やかに対応できるよう致してまいります。